令和６年度水循環企業連携フェア　開催報告

○ 水循環企業として登録・認証を受けた企業へのアフターサポートとして、有識者講演、水循環ACTIVE企業の優良な取組事例の聴講等を通じて、水循環企業の取組の深化や更なる取組を促すことを目的に、内閣官房水循環政策本部事務局・国土交通省共催で初開催。

○ 今年度は、企業間のマッチングの場に加え、水循環に関連する自治体にも参加を促し、自治体・企業間のマッチングも促進。

○ 会場に約70団体・社の約200名、WEB配信に約100団体・社の約130名の計約330名が参加。

※「水循環ACTIVE企業」とは、直近３年以内において水循環に資する取組を実施している企業であって、内閣官房水循環政策本部事務局長に認証された企業

➢ オープニング

○開会挨拶　水循環政策担当大臣　中野 洋昌

○「水循環企業登録・認証制度について」

内閣官房 水循環政策本務事務局 参事官 二俣 芳美

➢ 第１部：講演・取組紹介

○基調講演「水みんフラと流域総合水管理」

東京大学 総長特別参与 大学院工学系研究科教授　沖 大幹 氏

○企業と自治体が連携した取組事例の紹介

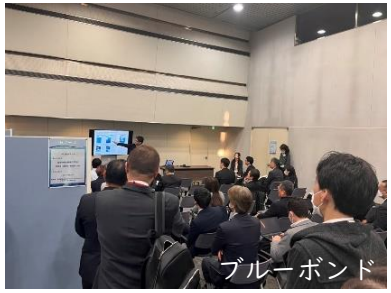
岡崎市、三菱自動車工業株式会社

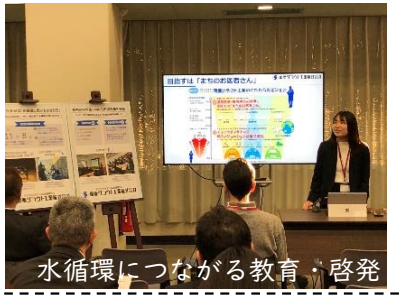
○上記登壇者によるクロストーク

モデレーター：筑波大学生命環境系教授 大学執行役員　辻村 真貴 氏

➢ 第２部：水循環ACTIVE企業や自治体によるパネルセッション

○民間企業12社、地方自治体４団体による発表





◆ 第１部のクロストークでは、企業と自治体が連携した取組に対して水みんフラからの視点、取組を始めて現在までの社内、市民の反応の変化などについて議論

◆ 第２部のパネルセッションでは、４つのブースにおいて、水道水源の森づくり、 ブルーボンド、水循環につながる教育・啓発、水循環の見える化と生物多様性等の８つのテーマについて発表し、各ブースで約40名程度の参加者が聴講

◆ 来場した企業間、自治体との意見交換や名刺交換が多く見られた。